

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、入所時、状況の変化があった際に、口頭での説明、同意は得ているが、文書での確認には至っていない。	口頭での説明に加え、文書での確認が出来るよう、文書を作成し、説明時に、同意のサインをいただく。	早急に文書を作成し、今後、入所される方、または状況の変化の見られる方に説明、確認のサインをいただく。	3ヶ月
2	No.1	職員の産休等、入れ替わりに伴い、リネンの共有と実践の再構築、周知が必要である。	施設理念を理解し、共有することで、地域密着型サービスとしてのあり方、グループホームの施設特性を活かしたサービスを提供する。	地域行事への積極的な参加、グループホームの特性にあった、業務にとられない発想で、入居者、職員共に生活を楽しめる環境づくりをする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。